

## 第220回教育研究評議会<議事要録>

日時	令和5年7月24日(月) 10:34~11:13
場所	本部棟5階 大会議室
出席者	服部学長, 藤田理事, 肥後理事, 椎名理事, 藤波理事, 金山副学長, 松崎副学長, 増永副学長, 河野副学長, 丸橋法文学部長, 河添教育学部長, 磯村人間科学部長, 伊藤総合理工学部長, 上野生物資源科学部長, 三原材料エネルギー学部長, 片岡評議員, 加藤評議員, 高橋評議員, 石原評議員, 山田評議員, 松本評議員, 三瓶評議員
欠席者	大谷理事, 鬼形医学部長, 境評議員, 津本評議員, 半田評議員
オブザーバー	千家監事 〔陪席: 企画部長, 研究・地方創生部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務部長, 松江地区学部等事務部長, 医学部事務部長, 監査室長〕

### 議決事項1 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請について

- 服部学長から地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請について説明があった。
- 伊藤総合理工学部長から国際卓越研究大学との連携は事業上要請されたものかとの質問があり, 服部学長から事業上の要請はなく, 高い研究力を持つ大学と連携することに島根大学のメリットがあると考えたものであるとの回答があった。
- 片岡評議員から定員の減少の有無など文系学部にどのような影響があるかとの質問があり, 服部学長から, 一つの分野を強化することでひいては大学全体にポジティブな影響があると考えており, 今回の事業により文系学部の定員を減らすことは考えていないとの回答があった。
- 山田評議員から総合理工学部も技術を扱う学部として事業を支えていくことになる。時系列のイメージにおいて大学改革の中に総合理工学部改組の記載があるが, 研究支援や教育の面でも改組が寄与するところは大きいため, そのような点を資料内にアピールできると良いのではないかとの意見があり, 服部学長から資料については内容を広げすぎても良くないためあえて記載していないとの回答があった。
- 上野生物資源科学部長から, 先端マテリアル研究開発共創機構の機構長は学長となるのかとの質問があり, 服部学長から別の方となるとの回答があった。
- 松本評議員から先端マテリアル研究開発共創機構の事務組織はどのようになるのかとの質問があり, 服部学長から当該機構内に事務室を設け, 専属の事務職員を配置するとの回答があった。
- 松崎副学長から当該機構の中に民間の企業の方が入ってくることはあるのかとの質問があり, 服部学長からすぐに来ていただくことは難しいが企業ラボを設置することとしており, クロスアポイントメント制度を活用し, こちらにも軸足をおいて研究を行っていただけるような産学連携を期待しているとの回答があった。
- 上野生物資源科学部長からコーディネータの役割について質問があり, 服部学長からURAのように定まったものでなく, 幅広い業務を行ってもらうことを想定しているとの回答があった。
- 松崎副学長からURAについて県外で働く方もいると思うが拠点をつくるのかとの質問があり, 服部学長から費用の問題もあり, 今後検討したいとの回答があった。
- 増永副学長からURAの採用についてどのように人材を確保するのかとの質問があり, 服部学長から決まった方策はないが, 例えば都市部在住であれば都市部常駐で業務にあたっただき, 島根で業務を行う方と勤務地を分けるといったことを考えているとの回答があった。
- 審議の結果, 原案どおり議決された。